

17-1 「意向形」カードゲーム



活動

ゲームを通して、「意向形」を練習する。

かたち



時間

せつめい編

活-07 意向形

談話の技術

準備する物

カード用の紙 (学習者の数 × 20)

使うことば

借^かりる、覚^{おぼ}える、取^とる、走^{はし}る、作^{つく}る、食^たべる、起^おきる、寝^ねる、着^きる、受^うける、あ^あげる、
 帰^{かえ}る、入^{はい}る、な^のる、乗^{つか}る、使^{つか}う、歌^{うた}う、言^いう、手^て伝^{つた}う、書^かく、弾^ひく、行^いく、履^はく、働^{はたら}く、
 泳^{およ}ぐ、読^よむ、飲^のむ、遊^{あそ}ぶ、持^もつ、話^{はな}す、勉^{べんきょう}強^{うんてん}〔する〕、運^{うんてん}転^く〔する〕、す^くる、来^くる

手 順

1. 学習者は3人ずつのグループに分かれる。
2. 教師はカード用の紙を一人に20枚ずつ配る。
3. 教師は30の動詞の「ます形」を10ずつ3列に分けて黒板に書く。
4. 学習者はそれぞれ違う列の動詞の「ます形」を1枚のカードに1つずつ書く。残りの10枚のカードに、それぞれの動詞の「意向形」を書く。
5. 書いたあとで、クラスでそれぞれの動詞の意向形を確認し、間違いがあったら直す。
6. グループ内で、「ます形」のカードと「意向形」のカードを別々にまとめる。そして2種類のカードを分けて、動詞を書いた面を下にして机の上に並べる。
7. 一人ずつ、順に2枚ずつカードをめくり、同じ動詞の「ます形」と「意向形」のカードが出たら、取る。例えば、「書きます」「書こう」。違っていたら元にもどす。
8. 全部のカードがなくなるまで7を繰り返す。

バリエーション

(1) カードをいちばんたくさん取った学習者の勝ちとする。

(2) カルタのように、「意向形」のカードだけを並べて、一人が「ます形」のカードを1枚ずつ読み、ほかの人たちがそれに合う「意向形」のカードを取る。

先生へ

- ・ <使うことば>の動詞は、ブロック17の練習で使われる動詞を中心に選んでいる。
- ・ 未習の動詞を交えて練習させてもよい。
- ・ この練習は「意向形」以外にも、ほかの活用形の練習としても使える。
- ・ この練習のほかに、「れんしゅう編」の6-1「て形のビンゴ」、7-1「言えたらあげる」、8-1「辞書形の練習」、9-1「ない形クイズ」、「れんしゅう編2」の14-1「られるリレー」の練習方法が利用できる。

